

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)

【公開番号】特開 2010-49976 (P2010-49976A)
 【公開日】平成 22 年 3 月 4 日 (2010.3.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-009
 【出願番号】特願 2008-214101 (P2008-214101)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 2/10 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 2/10 P

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 5 日 (2011.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器本体に設置された電池ホルダケーシングの収納空間内に、円盤状電池を装填可能な電池ホルダを挿抜可能な電子機器であって、

前記電池ホルダケーシングに設けられ、前記電池ホルダに装填された円盤状電池の外周に圧接して、前記円盤状電池を付勢する付勢部材と、

前記電池ホルダに形成される被係合部と、

前記電池ホルダケーシングに形成され、前記電池ホルダが前記電池ホルダケーシングの収納空間内に挿入されたときに前記被係合部と係合する係合部とを有し、

前記係合部は前記電池ホルダを前記電池ホルダケーシングの収納空間内から取り出すときに弾性的に変位するものであって、前記係合部が変位する方向と前記付勢部材が前記円盤状電池を付勢する方向とが略一致することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

前記電池ホルダケーシングの収納空間内に形成され、前記電池ホルダが前記電池ホルダケーシングの収納空間内に挿入される際に前記電池ホルダをガイドするガイドレールと、

前記電池ホルダに形成され、前記電池ホルダが前記電池ホルダケーシングの収納空間内に挿入される際に前記ガイドレールに案内される挿入ガイド部材とを有し、

前記係合部は、前記ガイドレールの前記挿入ガイド部材と当接しない面に、前記付勢部材が前記円盤状電池を付勢する方向と略反対方向に突出形成される凸部であることを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 3】

前記電池ホルダが前記電池ホルダケーシングの収納空間内に挿入された状態における、前記係合部と前記被係合部との係合位置を、前記付勢部材が前記円盤状電池を付勢する方向の延長線上に配置することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記電池ホルダが前記電池ホルダケーシングの収納空間内に挿入された状態で、前記付勢部材が前記円盤状電池を付勢する位置が、前記円盤状電池の中心よりも、前記電子機器の外側に設定されていることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本発明の電子機器は、電子機器本体に設置された電池ホルダケーシングの収納空間内に、円盤状電池を装填可能な電池ホルダを挿抜可能な電子機器であって、前記電池ホルダケーシングに設けられ、前記電池ホルダに装填された円盤状電池の外周に圧接して、前記円盤状電池を付勢する付勢部材と、前記電池ホルダに形成される被係合部と、前記電池ホルダケーシングに形成され、前記電池ホルダが前記電池ホルダケーシングの収納空間内に挿入されたときに前記被係合部と係合する係合部とを有し、前記係合部は前記電池ホルダを前記電池ホルダケーシングの収納空間内から取り出すときに弾性的に変位するものであって、前記係合部が変位する方向と前記付勢部材が前記円盤状電池を付勢する方向とが略一致することを特徴とする。